

## 1.5 教育情報化の推進による大分の将来を担う子どもたちの育成 (大分県教育委員会)

「大分県教育情報化推進戦略2013」の実現を通じて、教育情報化の推進による大分の将来を担う子どもたちの育成を目指す大分県。この取り組みは県内全市町村を巻き込んで進められており、「大分県教育情報化推進本部」のもと県全体の戦略として以下4つの目標を掲げています。

1. 学校の教育情報化推進体制の確立
2. 子どもたちの情報活用能力の育成
3. 授業の情報化の推進
4. 校務の情報化の推進

これら4つの目標は具体的な13の施策に展開されていますが、情報化の推進に不可欠となるガバナンスの仕組みを基礎とし、クラウド技術を積極的に活用する先進的な取り組みとなっています。



平成25年2月25日  
大分県教育委員会

目標	目標	基本方針	施策	施策のポイント
教育情報化推進体制の確立	教育委員会、学校における教育情報化推進体制の確立	大分県の教育情報化推進体制の確立	教育委員会、学校における教育情報化推進体制の確立	①教育委員会内に教育情報化推進本部を組織し、教育情報化推進本部が学校情報セキュリティ委員会を統括する。(推進責任者【職】)
	子どもたちの情報活用能力の育成	子どもたちの情報活用能力の育成	子どもたちの情報活用能力の育成	①県内16市内に教育情報化推進本部を組織し、教育情報化推進本部が学校情報セキュリティ委員会を統括する。(推進責任者【職】)
学校の教育の情報化	ICTを効果的に活用した授業づくりの推進	ICTを効果的に活用した授業づくりの推進	ICTを効果的に活用した授業づくりの推進	①(小)小・中・高の授業支援システムによる授業支援システムの実施【職】 ②(小)小・中・高の授業支援システムによる授業支援システムの実施【職】 ③(小)小・中・高の授業支援システムによる授業支援システムの実施【職】
	授業の情報化の推進	授業の情報化の推進	授業の情報化の推進	①(小)小・中・高の授業支援システムによる授業支援システムの実施【職】 ②(小)小・中・高の授業支援システムによる授業支援システムの実施【職】 ③(小)小・中・高の授業支援システムによる授業支援システムの実施【職】
校務の情報化の推進	業務の効率化	業務の効率化	業務の効率化	①(小)小・中・高の授業支援システムによる授業支援システムの実施【職】 ②(小)小・中・高の授業支援システムによる授業支援システムの実施【職】 ③(小)小・中・高の授業支援システムによる授業支援システムの実施【職】
	教育活動の情報発信	教育活動の情報発信	教育活動の情報発信	①(小)小・中・高の授業支援システムによる授業支援システムの実施【職】 ②(小)小・中・高の授業支援システムによる授業支援システムの実施【職】 ③(小)小・中・高の授業支援システムによる授業支援システムの実施【職】

### 【教育情報化の基礎となる推進体制】

「大分県教育情報化推進本部」は、県教育長を教育CIOとし、市町村の教育長で構成される全県横断的な推進組織です。この推進本部内には、「教育情報化推進委員会」と「学校情報セキュリティ委員会」が置かれ、情報化施策の推進とセキュリティ確保の両面から学校を支援しています。この推進体制は、各県立学校にも展開されており、平成26年度から県内の市町村立学校にも展開していく計画です。

また、大分県教育庁教育財務課に情報化推進班を設置し、機器整備研修・指導體制を一元的に実施し、安全・安心・発展の教育の情報化を目指す全国でもめずらしい組織となっています。

これらの推進体制や組織が施策実施から運用までカバーし、ガバナンスを発揮する仕組みとなっており、教育の情報化を推進する基礎として機能しています。

### 大分県教育情報化推進戦略2013 —教育の情報化による大分の将来を担う子どもたちの育成—

#### 大分県教育情報化推進本部

H25.4.25設置

本部長：県教育長「教育CIO」  
本部委員：市町村教育長

#### ・県と市町村横断の推進体制の確立

教育情報化推進委員会

学校情報セキュリティ委員会

#### 学校を支援

- 学校の教育情報化推進委員会の設置
- 目 1. 学校の教育情報化推進体制の確立  
2. 子どもたちの情報活用能力の育成  
3. 授業の情報化の推進  
4. 校務の情報化の推進

### 【クラウド技術の活用による校務の情報化】

大分県は2001年から2004年にかけて、県内全市町村をつなぐ『豊の国パイパーネットワーク』という光ファイバ網を整備しています。この基盤を利用して「大分県教育ネットワーク」を構成することで、県立学校及び市町村立学校が高速ネットワークを利用できる環境となっています。

県だけではなく市町村も含めた統一的なネットワーク環境を整備したことで、教育情報化の様々な施策を大分県全体で推進することを可能とし、他県には見られない強みになっています。特に、目標とする「校務の情報化の推進」においては、学校に張り巡らされた、この高速ネットワークとクラウド技術を組み合わせることで、教職員の校務負担を軽減し、児童生徒と向き合う時間の創出に寄与しています。

学校における校務の情報化は、教職員同士の情報共有による学校運営の改善や児童生徒の実態に応じたきめ細やかな指導を促すと同時に、教職員の事務負担を軽減し子どもと向き合う時間を確保する効果を生み出すと言われています。大分県教育委員会の取り組みは、この目的に向けて、相性のよい二つの要素である「高速ネットワーク」と「クラウド技術」を組み合わせ、更には必要とするセキュリティレベルや利用方法に応じて最適なクラウド技術を使い分ける先進的なものといえます。

大分県教育委員会の校務の情報化を支えるのは、メールやスケジュール管理・ドキュメント管理機能を有する「OENシステム」と、出席状況や成績を保管する「大分県学校総合成績管理システム」、いずれもクラウド技術を活用したシステムです。

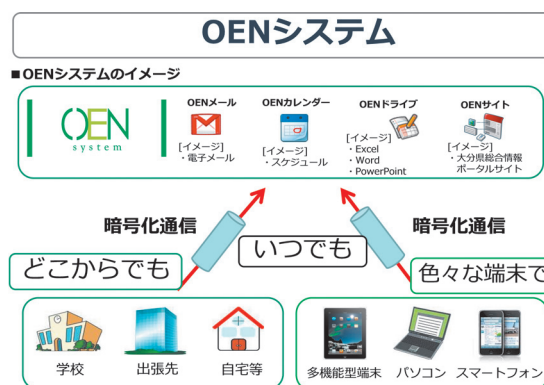
### 【OENシステム】

OENとは、Oita Education Network（大分教育ネットワーク）の略です。大分教育ネットワークからパブリッククラウド（Google Apps）を利用する校務支援システムで、県立学校のみではなく、市町村立小・中学校の教職員も利用することができます。

OENシステムを利用することで、どこにいても情報伝達やデータ共有が可能となるほか、東日本大震災以降非常時の課題と考えていたコミュニケーションの手段として、どこにいてもメールが利用できるといった災害面の対策にもなっています。

例えば、職員朝礼で使用する資料や伝達事項を事前に共有しておくことで、会議の時間が短縮され、その分、生徒の指導や学年会議等を充実させています。

またOENシステムの利用により、近年ではUSBメモリの利用が減っており、紛失がなくなったといったセキュリティ面での効果も生み出しています。



### 【大分県学校総合成績管理システム】

大分県学校総合成績管理システム（ARMS：Oita's Prefectural Academic Record Management System for Highschool）は、学籍情報、成績情報、出席情報など扱うシステムです。センシティブな



## 特集 4

### あなたが住む街の学校教育ICTへの取組

データを扱うことから、より強固なセキュリティが確保できるプライベートクラウド（大分県と民間が豊の国ハイパーネットワーク中で共同運用しているプライベートクラウドサービス（豊の国IaaS））として運用されています。利用者の認証もより高度な方式を採用していることから、教職員自身の学校からのみ利用が可能です。

大分県教育委員会が独自の仕様で開発しており、使いやすくなければ教職員から使われないとの考えから、より簡単な操作、より効率的な方法を工夫しながら現在でも進化を続けています。

現在は県立高等学校のみの利用ですが、小中学校向けシステムの要望も多く、今後利用拡大に向けて検討を始めています。

その他、情報セキュリティポリシーのもと、教職員間のコミュニケーションツールとしてSNSを積極的に利用することで、学校間の連携や交流を進める取組など、大分県教育委員会では、教育の情報化を推進するために様々な戦略的取組を進めています。

(大分県の事例に関するお問い合わせ先)

大分県教育庁教育財務課情報化推進班

TEL：097-506-5463

e-mail：a31120@pref.oita.lg.jp

